

【合格大学・学部・学科名】

東京大学	理科一類	
東京理科大学	理学部	数学科

東大の入試は出題形式や難易度が非常に特徴的で、東大に特化した参考書もたくさんあるので、他の大学よりも対策がしやすいです。その一方で、深い考察を必要とする問題が多く、直前に詰め込んだ付け焼き刃の知識では、もちろん多少の点数にはなりますが、合格点に持っていくのは厳しいです。これから受験する皆さんは、このことを念頭に置き、計画的な学習をしてください。僕は計画を立てずに数学ばかりをやっていたので、直前期に他の4科目すべてで苦勞しました。結果として合格だったわけですが、やってよかったことだけでなくやっておくべきだったこともたくさんあるので、それを記します。

まず、やってよかったことは、1年の夏休みに英語の基礎を固めたことです。データベースとDUAL SCOPEを1周すると、それなりに文が読めるようになり、苦手意識はなくなります。英語は安定する科目なので、精神的な余裕も生まれます。他には、数学の難しめの問題をじっくり考えるようにしたこと。1日で解くのではなく、思い立った時に数十分ずつ考えるようにしていました。時間を空けてやると解けるようになっていたりして、成長を感じられます。

次に、やっておくべきだったことは、英語の勉強です。一度基礎を固めるとおろそかにしがちですが、少しずつ土台がもろくなっていくので、3年生時にはかなり実力が低下していました。あとは、化学の授業には力を入れておいたほうが良いです。教科書にない大切なことを聞き逃すと後々苦勞することになります。

他には、入試の前夜では精神が非常に不安定になるということを理解しておくといいです。試験後にSNSを見ると、「簡単だった」というような投稿が多くみられ、不安に駆られて勉強が手につかなくなるので、あまり見ない方がよいと思います。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『大学への数学』（骨のある問題がたくさん演習できる。読み物の記事もあるので、息抜きにもなる。）

『鉄壁』（東大向きに作られているので、問題を解くとありがたみ分かる。）

英語、古典の添削（一人で解くだけよりも圧倒的に心強い）

地理の補講（問題がたくさん解ける。楽しい。）

【合格大学・学部・学科名】

一橋大学	法学部	法律学科
中央大学	法学部	法律学科
明治大学	法学部	法律学科
立命館大学	法学部	法学科

受験に臨むにあたって、1、2年時の国数英の基礎固めが一番重要だと感じました（特に数英）。文系であっても数学ができることは大きなアドバンテージになります。国数英の基礎固めは、1年生の時に教科書での予習、復習が中心でした。数学の演習には4STEPを使っていましたが、1年生の11月頃から数学の成績が急に落ちたので、青チャートも使い始めました。2年になってからは社会科目の勉強も始まりましたが、国数英の基礎固めは同じように続けていました。1、2年生の時の地道な努力が3年時の成績の伸びに繋がるので、目の前の結果を気にしすぎず、色々と試行錯誤を重ねて頑張ってください。社会科目は、日本史と世界史を選択しましたが、3年の夏までは、基本的に單元ごとに暗記と演習の繰り返しでした。3年の夏頃から本格的に受験に向けた演習に取り組み始めましたが、1、2年生時の積み重ねがあった分スムーズに取り組むことができたと思います。共通テスト対策には、学校から配布された共通テスト用の問題集、センター試験の過去

問を主に使いました。共通テスト本番では、国語で大失敗してしまい、思っていたほど得点が伸びませんでした。国立の二次試験では何とか巻き返すことができました。皆さんも、結果が出るまで諦めずに勉強に取り組んでください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『4STEP』、『青チャート』（基礎固め用）
『文系数学の良問プラチカ』（入試典型問題の演習）
『鉄壁』（英単語暗記に役立つ）

【合格大学・学部・学科名】

東北大学 理学部 物理系

1年生の時は、とりあえず目標の大学を高く設定し、モチベーションを上げ、その上で勉強に取り組むと良いと思います。そうすることで、毎日勉強するやる気が出ると思います。2年生時には、友達との仲が深まり、一番楽しい時期だと思います。気晴らしに遊ぶのはいいですが、一日一時間でも机に向かうことをおすすめします。

2年生になったら、まず『やる気』を出す努力が重要です。ここで言う『やる気』は、一日だけ頑張る長時間やるのではなく、毎日短時間やる『やる気』です。この『やる気』を出すためならば、ゲームなどの趣味をするのも構わないと私は思います。色々書きましたが、『やる気』を出す努力をし、毎日継続して勉強することが重要です。勉強法などは、やっていたら身に付きます。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『物理のエッセンス』（教科書より分かりやすい）
『良問の風』（答えがきれいでやる気が出る）
重要問題集 物・化(様々な問題がある)

【合格大学・学部・学科名】

上智大学 外国語学部 英語学科

私が後輩の皆さんに伝えたいメッセージは2つあります。

1つ目は、志望校の過去問に早い時期から目を通しておくことの大切さです。おそらく大抵の人は、志望校を決めた時点では、その大学の過去問になかなか太刀打ちできないと思います。その為、志望校の過去問を敬遠しがちです。しかし、肝要なのは、志望校と現状の自分との差を認識し、逆算に基づいて勉強戦略を立てることです。確かに、自分の実力と正面から向き合うのは勇気がいると思います。ただ、これを早い時期から実践することで、周りに大きな差をつけられるはずです。ぜひ、受験勉強に本腰を入れようと決意した時には、まず志望校の過去問に目を通してみてください。

2つ目は、早い時期から基礎固めをしておくことの大切さです。高3になると、基本を組み合わせた応用問題や、過去問の本格的なやりこみが勉強の中心になってきます。そこで、高3になってから、基本から応用に移行する時に、高1、高2で積み重ねた基礎知識というのは、とてつもなく重要になります。日々忙しいとは思いますが、少なくとも基礎固めはしておいた方が間違いなく得策です。

ここまで読んでくれてありがとうございます。後輩の皆さんの健闘を祈ります。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『DU03.0』（英語苦手を払拭してくれた単語帳。これ一冊やり込めば、かなり英語力がつくと思います。）

『ポレポレ英文読解』（解説が非常に分かりやすい。）

【合格大学・学部・学科名】

筑波大学 人間学群 教育学類

大学受験で最も大切なこと。それは、「やりたい事を見つけること」だと思います。なぜそう感じたかを簡単に説明します。

まず、「やりたい事」がないと志望校が決まりません。数多くの大学から自分が行きたいところを1つ決めるには、「自分がやりたい事ができる大学」というような条件で絞っていかないといけません。次に、「やりたい事」がないと受験へのモチベーションが保てません。大学受験は皆さんが経験したであろう高校受験よりもかなりハードです。勉強したくない…と思った時に、そこの大学でなければいけない理由がないと、モチベーションが続きません。「自分は〇〇がやりたいから絶対ここに進学したい！！」という気持ちを持つことが大切です。

続いて、推薦入試で受かった者として、「推薦入試」に焦点を置いて後輩の皆さんにメッセージを残したいと思います。

私は高校3年間の間でたくさんのごことを経験しました。課外活動や英語スピーチなどを通して、自分の考えを広げることができました。しかし、当たり前な話ですが、これらの活動が推薦入試で使えるかも！？なんて思って参加しているわけではありません。自分でやってみたい、挑戦してみたいと思い、様々な活動に取り組みました。それらの活動を通して、自分がどういう進路に進みたいか、将来そのようなことをしたいかという明確なビジョンが生まれてきました。数多くの大学の中から選んだ大学の推薦入試が、「たまたま」私がしてきたような活動を行ってきた生徒を求めているため、「推薦入試に挑戦してみよう」と思いました。

では、皆さんは今何ができるのでしょうか？それは勉強しれないと思います。どの教科も手を抜かず、様々な知識と触れていく中で、きっと自分が「面白い」と思えるものが見つかると思います。そこで、自分の好きな分野についてより詳しく調べてみるのも良い事ですが、他の勉強もしっかりと行ってください。知識を広げ続けることで、自分の好きな分野への理解も深まるでしょう。

作新は、自分が「これをやりたい！」と強く希望すれば、先生方が手厚くサポートしてくれます。やりたい事とことん追求し、皆さんが希望の進路に進学できることを祈っています。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

赤本(推薦入試の過去問を解くため！小論文の課題文の英語がけっこう難しい！！)

英字新聞(テーマに沿った英単語が覚えられる！！)

【合格大学・学部・学科名】

宇都宮大学 農学部 森林科学
北里大学 獣医学部 生物環境科学
帝京大学 理工学部 バイオサイエンス学科
日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 動物科学科

今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、校内で常にマスクをつけたり、受験の会場になるべく都心を選ばないようにしたりするなど、様々な事に注意を払わなければならない年となった。特に、宇都宮大学は二次試験そのものが中止となり、出願からずっと合格発表を待ち続けなければならなくなった。だけど、そこで宇大について過剰に不安がるべきではないと思った。むしろ、それが原因で体調を悪くして、後期試験に悪いパフォーマンスで臨むことになってしまうことが最悪のケースであると考えた。結果的に宇大に合格したが、そういった姿勢で後期の対策をしていたので、体調やメンタルを崩すことなく勉強を続けることができたのだと思う。もちろん、試験に対して決死の覚悟で臨むことも大切だ。だから、自分の調子と相談して、パフォーマンスを最良に保っておくことが一番大切だと思う。

コロナウイルスの流行は今もなお続いているため、来年はもちろん、これから数年は同じように受験をす

ることになるかもしれない。また、今年の宇大のように二次試験を中止にする大学が増えるかもしれない。そうなった時には、焦らずに勉強を続けることはもちろん、自分の現状を把握し、最善の選択をすることが大切だ。そのためには、親や先生方のアドバイス、そしてインターネットの最新の情報は良い手がかりになる。普段の生活の中でも周囲にアンテナを張り巡らせ、情報を自分のものにしてほしいと思う。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

学校で配られたもの(4STEP、青チャート、リードα、生物セミナーなど)

どの教科でも、基本から応用までほとんど確認できる問題集を配布してくれたため、新しく買う必要はなかった。

【合格大学・学部・学科名】

昭和女子大学 国際学部 国際学科

私が受験を通して1番後輩の皆さんに伝えたいことは、「英検準一級」を取得することのメリットです。私が受験したのは国際系の学部ですが、ほとんどの大学で英検のスコアを提示しました。調べてみるとよく分かるかと思いますが、準一級は、英語の試験免除、満点換算、9割換算など、受験生にはありがたいほど有利な状態で試験にトライすることができます。気持ちに余裕が生まれ、他の教科に集中して勉強することも可能です。

私は、高2の8月に英検準一級を取得しました。実はその前に、普通の英検とS-CBTを4回受験していました。はじめのうちは、本屋で目に付いた単語帳を使用していましたが、見づらいのと、スマホで発音が聞けないものだったので、『でる順パス単』に変更しました。私は、バス通で片道1時間だったので、バスの中では単語をやると決めて、毎日往復2時間頑張っていました。ライティングの練習にも、大きなポイントがあります。授業中に暗唱した文を、英検のライティングにも活用するという事です。私は、高校に入学して初めて授業で教科書の文を暗唱することを始めましたが、休み時間や放課後にクラスメートとチェック合ったクラウンの英文は、今でもスラスラ言えるくらい自分の頭の中に入っています。その文をライティングに活用すれば、速く、正確で、濃い内容の文を書くことができ、合格に近づきます。

今年の受験は、英検を持った人がかなり有利な待遇を受けられるが多かったため、皆さんが受験生となる頃には、ライバルにもどんどん英検合格者が出てくると思います。英検は受験と異なり、1発勝負ではありません。1、2年生のうちから受験の競争はスタートしていると思います。「あの時英検を取ってよかった」と心から思える日が、きっと来ると思います。頑張ってください！！

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『ターゲット1900』

『ネクステージ』

『でる順パス単』(スマホで発音が聞ける)

【合格大学・学部・学科名】

拓殖大学	外国語学部	スペイン語学科	
神田外語大学	外国語学部	イペロアメリカ言語学科	スペイン語専攻
神奈川大学	外国語学部	スペイン語学科	
関西外国語大学	短期大学部	英米語学科	

私は最初、公募推薦で合格を頂こうと思っていました。しかし、結果は2点足りなくて不合格でした。その原因は、きっと語彙力が足りなかったからだと思います。外国語学部や国際系の学部を志望しているなど、英語が重要だという方には、データベースを極めた上で、もう一冊単語帳を買い、学ぶことをおすすめします。正直言うと、英語において勉強しなくていい所はありません。単語をどう発音するかは、リスニングに繋がるし、正しく発音できるかということや、類語、対義語を知ることが本当に大切なことです。単語を調べるたびに細かく調べることは面倒なことだと、私自身とても思いました。でも、やれば成績は少しずつたかど上がります。単語を疎かにする人は、今長文が読めていても、いきなり読めなくなります。そうなりたくなかったら、ちゃんと勉強してください。私みたいに涙を流さないように。

あまり学校だと発音を詳しく細かくできないことも多いと思ったので、私はiPhoneのSiriを英語の設定にして、英語で「この単語、日本語で何て言うの？」って聞いていました。それを何回か繰り返すとだんだ

ん、日本人の中で発音の区別が難しいと言われている「L」と「R」の発音ができるようになってと思います。iPhone じゃなくても音声機能はあると思うので、実際にやってみてください。

英語以外のことだと、私は現代文で何回かクラス内最下位を取ったことがあります。苦手な教科は誰にでもあって、そういう教科に対して、逃げたくなることがあると思います。私は、文系でありながら現代文が解けない、そしてクラスビリ。そんな状況がとても嫌で、逃げたかったけど、逃げたら成長できないから、先生にどうやったら伸びるのかを直接聞きに行きました。そして、演習を繰り返して、クラスビリからクラス3位まで順位を上げました。現代文は、さまざまなジャンルに触れ、大切な所に線を引いて、演習を重ねることが一番大切です。

最後に、受験において重要なのは、人を気にせずに、自分を信じて勉強することと、一喜一憂せず、諦めないことです。つらいことなんてたくさんあります。つらさを多く感じる分、嬉しいことはより嬉しく感じられます。会いたい自分に会えるように頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『漢字マイスター 頻出漢字熟語 3000』（入試を復習したときに、大抵の漢字がここから出ていたから。）

『Key & Point 古文単語 330(三訂版)』（付録のページが特に良い。単語だけでなく、古典上の知識、文学史、助動詞、助詞とかが一冊にまとまっているから。）

『タペストリー』（特に文化史は教科書以上に載っているから。）